

# 寺報

龍正寺

日なた 178号

信  
力  
日  
延

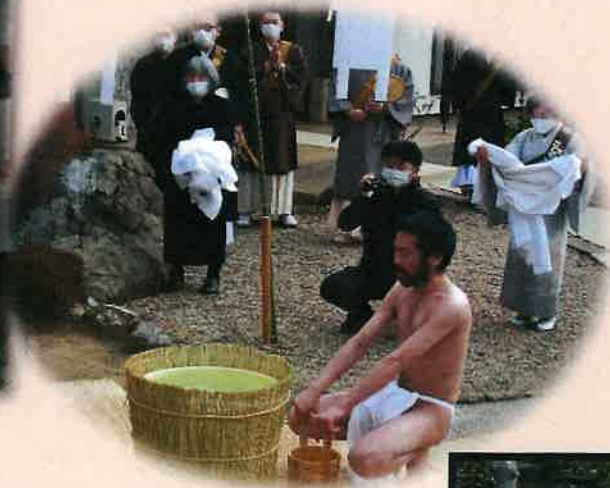


<令和 5年 3月>

宝龍会  
護持会

2023年（令和5年）2月18日  
妙泉寺にて祖父江鳳紘上人の  
寒壺百日大荒行成満帰山式

岐阜駅から檀信徒と行列、本堂の前で寒さの中水行されました。そのお姿に合掌し、無事成満された事を涙する方々もみえました。龍正寺檀信徒も参拝し、特別祈禱を受けました。



鬼は内、福は内の声がけに一斉に豆を撒いています。

# 徑 職 一 言

段々と暖かくなって来ました。機全線話題もニュースで流れる様になり、心も浮き浮きする時節になりました。皆様様充分にお身体に気を付けてお過ごし下さい。

前号に続きます。「欲令衆 妙法蓮華經 法師品第十の中より

『われ化の四衆比丘・比丘尼及心清信士女をわかめて法師を供養せしめ諸の衆生を引導してこれを集めて法をきかしめむ。

もし人悪刀杖及代瓦石を加えんと欲せばすなわち變化の人をわかめてこれがために衛護となさん』

「解説」

自分が死んだ後にはだんだん世の中が険悪になるであらうが、その険悪な世の中にあらわれて、よくこの經を説く者があるならば、自分は假の姿をあらわして比丘・比丘尼および出家しない男女をわかめて法師を供養せしめる、それからその人々がさらに

大勢の人をさそって法を聴きうむように加護  
をする。

もしこの經を説く者を斬るとか、石をもってうつとか  
杖をもってたぐるとかいうようなことをする者が  
あるならば“變化人をつかめて法華經をい  
らぬ者は雷が加わらないように保護をさ  
せよう。

釋尊はこの様に我々に説かれおられます。

この後は次号にあたりしめ下さい。

合掌

南無妙法蓮華經

## 「流れを受け入れる」

走ることの意味に対して、どのような意味があって、どのような思いを自分で選択するか。走ることが何であれ、受け入れる。

走ることの意味は何を教えてください。

生きていけばいろいろな事が走ります。

何が走ったか、どう感じる、どんな発見や学びがあったか、それが自分に何を教えてくれたのかが大事であり、結局のところ最後は感謝になります。

現象は自分の心、行いがすべて反映されている。

いろいろな方を見ていると自分の鏡だと思いがたい事...

相手のやっている事に文句を言ってイライラしている姿を見ているとあ〜あ、それって自分も同じ事してるじゃないかと思ってしまうし、私も同じことしてたなと回想していました。

気づくといいのになと思うが人は何かないと気づけないうら苦しみをあたえられる。

自分ほとみつめ直すと、昨年までは体の倦怠感が強く何もやる意欲もなく、仕事もこなすのがやっとの日々..

土・日も横にならざる事が多か、た。

でも、よく考えてみると、ホルモン療法のおかげがあり、治療を開始したこと。

両親がコロナに感染したが、80才の父が一番軽症であった事を聞いて筋肉をつけなくてよと思わせてもらいました。

父は、重い金属加工の仕事をしており、同年代の方に  
比べると、かなり体はがっちりしていると思います。

そんな父の事から気がかせてもらい、歩こうという決断  
ができ、週1回は歩くと決めてはじめています。

走る事は偶然ではなく必然であり、あらがうこと  
はかれ、あらがうことなかれと...

# 春の訪れ

春の訪れとともに草木は咲き誇って  
来ます ショーウィンドーにも春が並んでいます  
スニーかも春色...あたたかく動き出して  
ゆく春の訪れのようにです カレンダーは  
3月に変わります。3月はひな祭り 女の子の行状で  
かわいらしさが浮かびます



あかりをつけまほほんほりに  
お花もあげまほ桃の花  
五人ばやしのだ太鼓  
今日はたのしいひな祭り



かわいらしくてやさしい歌です  
年を重ねてから聞く童謡はあの歌にも  
この歌にも感動があります わたくし達の  
子供の頃は ひな人形なんて飾ってはもら  
えなかった時代でした でも何事になっても  
ひな祭りは女の子の行事なのです ほんほりと  
かし飾りでも飾り春の風を思ってみることもいい  
ようです!!

老いの本の勢いも止まらない昨今だそうです

老いの一人暮らし 老いてこそデジタルを...

便利に使いたいと本の見出しです

老いを愛でてゆく すぼらでいい老いの暮らし

102才のひとり暮らしさんのことばかりひろいました

。今の自分を、わたしらしく生きる!!

。日々のテンポを守る。

。老いの一人暮らしの時間と大切にすよ

そしてわたしが一番心に止まりました言葉

何事も上等上等と書いてよろこぶこと書いて

あります...

わたしも自転車で走ります時に...足が

痛くても自転車に乗れて走れて上等上等

そして何より一番大事なお題目を唱えて

ありがとう、ありがとうと何度も唱えて 角、角を

充分に気をつけて走ります。



新園の川柳よりです

- 今日内科 明日は眼科 忙しき医者通いで  
元気です
- お風呂上り 年取った身に顔にクリーム塗る  
気休めに塗ってみる。効果があるか無いかは  
年の別れ目…
- ああえらい ひと臭って又動く 氷が老いの  
姿よ。本当にこの通りの日常ですか 夢と希望と  
ない様子が面白くて たのしく笑って新園を  
読みます。

梅林玄園の梅と美しく咲いています 梅林の  
梅は老本だんじです でも品よく美しいのです…

美しさの香が標よっています 美しい梅をながめて  
少し元気を与えて下さると合掌致しました

身延山への御礼参りが今の思いの目標です

でも今は毎日せいたくな 時間を与えて  
もらってます 尊いはからいの世界の中  
に今居ることを感じさせられます  
それは 尊いお題目のおかげさまでござ  
います 心いっぱい広げてお題に心を  
込めて唱えます 本当に有りがたい良薬の  
おかげさまの 日々が 何よりの恩です

そして常に和顔愛語を心に止めてゆか  
ねばと存じます でも今は少し笑顔が消  
えなうです。ひざがとっても痛みます お堂で  
お若い信徒の方々にお声をかけていただき  
励まされますととてもうれしいよろこびでござ  
います おせわをおかけ致しますがどうぞ  
よろしくお願い申します

南無妙法蓮華經

合掌

# —— 感謝の心 ——

まだまだ「寒い日が続いていますか」皆様体調  
お変わりありませんか？ 我が家はこの2ヶ月間、  
あまりの電気代高騰に頭を悩ませながらも、  
出来る事からコツコツとさらに節約方法はいろいろ  
実践しているところです。

2月18日、祖父江上人様の「帰山式」に参加させ  
て頂きました。数ヶ月ぶりに見て、祖父江上人は  
体もやせて、足もあかぎれ、髭をにくわえに姿で  
したのが、一目見た時には、自然と手を合わせ、涙  
があふれてくるのを止めるまでに時間がかかると  
のを感じています。100日間の行は、どんな内容  
なのか聞いてはいましたが、簡単に口にするのは  
恐れ多く、無事に成満された5名のお上人様方の  
水行や読経は迫力が有り、有難い場所に  
居させて頂いた事に感謝しかありませんでした。

6年生の息子に行の話をすると、「こんなに寒  
いのになんでそんな事するの？」と聞かれました。

ごはんを食べる事、服を着る事、温かい部屋で  
過ごせる事、ゆっくり眠る事、テレビが見られる事…  
すべて当たり前ではないという事、そうさせてもらえる  
事に感謝してあげなければいけないと話をすることか  
ができました。

今は昔に比べて停電することもなくなりまし  
ね！常に電気がある状態なので、電気があ  
る有難さを実感しにくくなっていきま  
す。もっと大切に  
使わせてもらえば、自然と電気代も削減され  
るのかな… と思いました。

常に当たり前のように出来ている事は、出来なく  
なってみないと有難さを実感できません。小さな  
事にも常に感謝の気持ちを持ち、子ども達  
にもその大切さを伝えていきたいです。

南無妙法蓮華経

## 母の入所

10月29日 母が脳梗塞で緊急入院しました。

左半身麻痺になりましたが、治療のおかげで左腕は胸まで上がり、歩行器・杖使用で10mほど身守りがあれば歩行可能になりましたが、更衣等生活の中では一部介助の必要もあり、自宅環境も考えると自宅での生活は困難になりました。すぐに施設も見つからず、まずはリハビリ病院へ転院しました。

以前から認知症もあり、理性が保てず感情のコントロールが難しくなっていました。テニサーボスでも、利用者、職員の方々とトラブルが続出していました。入院時にもその事がとても気がかりでした。毎日の朝勤祈願時には「どうか母がご迷惑もかけませんように...」と祈り続けていました。

しかし...やはりリハビリ病院でも、リハビリを拒否し続け、暴言を吐き治療が進まないとの再三の連絡がありました。とうとう1月23日 リハビリを受けても与えないのであれば、退院してほしいと言われました。つくづく母の今後の対応に心身共に疲労困憊していました。

佐口上人にお話すると「大丈夫ですよ。安心して下さい。あなたの毎日のお参りを仏様ほちゃんと見てくれますよ。」と励まして頂きました。

そして1月25日思わぬ良報がありました。特別養護老人ホームが見つかたとの連絡でした。実家からも近く、母にとっても全く知らない地域でない事に安堵しました。すぐ弟と入所への手続き準備の為に奔走しました。2月8日施設へ入所の書類を提出する日、同日入所可能になりました。

母が入院してから会社へもたびたび勤務調整をお願いしていたので、有り難い事でした。

仕事で御家族から、入所の大変さや伺う事がよくありますが、我が身に体験して痛感しました。

母が倒れた10月29日は亡き姑の誕生日、母が入所した2月8日は父の月命日です。母の事でこの数年間心身ともに疲れていた私を救ってくださった様に思います。佐口上人が教示して下さい、「仏様ほちゃんと見ておられるよ、見守、て下さ、っている。」

心から感謝しました。

入所当日、早朝 寺院へお参りして、母を病院へ迎えに行きました。

入所後、父のお墓参り、再び、寺院へ御礼参りをしました。

今、母はとても穏やかな日々を過しています。面会に行くと笑顔で会話を楽しんでいます。

少しずつ変化して行く母に、何か出来るかわかりませんが、穏やかな日々が続く様に御題目を唱えていきます。

## < 3月行事予定 >

3月13日(月) 10:00~ { 宗祖日蓮大聖人報恩会  
鬼子母尊神 ) 祈祷会  
七面大明神 )  
大古久尊天祈願会  
21日(火) 13:00~ 春季彼岸中日法要会

## < 3月住職の予定 >

寺院 = 法務

## < 3月の予定 >

3月6日(月)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
12日(日)		
13日(月)	法要後	片付け、準備
14日(火)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
20日(月)		